

病害虫発生予察注意報第4号

佐賀県

県内のイチゴにおいてハダニ類の発生が増加しています。3月以降は気温の上昇によりさらに増加し防除が難しくなるため、直ちに圃場での発生状況を確認し、発生圃場では薬剤による防除を実施してください。

作物名：イチゴ

病害虫名：ハダニ類



1) 注意報の内容

発生地域：県内全域

現在の発生量：平年よりやや多い

2) 注意報発令の根拠

(1) 1月19～23日に実施した定期調査（農技防調査：11圃場、防除員調査4圃場）において、発生圃場率は60.0%であり多くの圃場で発生が認められた。また、発生株率は17.1%（平年9.5%、前年9.3%）で先月の10.5%から増加し、平年及び前年よりやや高い（図1参照）。

(2) 圃場間で発生程度が大きく異なり、発生が認められない圃場がある一方で、発生株率が80%と高く、葉のカスリ症状や蜘蛛の巣様の糸の発生により株の生育が抑制されるなど、被害を生じた圃場も確認される（表1、図2参照）。

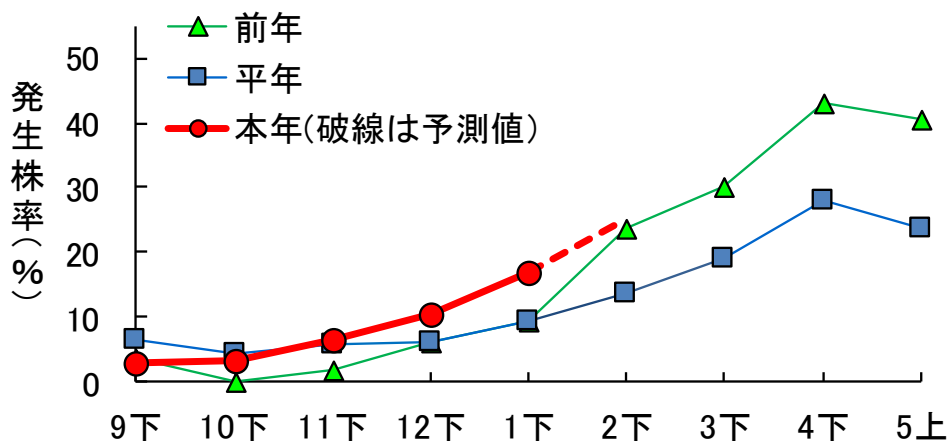


図1 ハダニ類のイチゴ圃場での発生推移

表1 イチゴ定点調査圃場におけるハダニ類の発生状況

調査地点	(参考) 12月の発生株率(%)	1月の発生株率(%)	調査地点	(参考) 12月の発生株率(%)	1月の発生株率(%)
A	0	0	I	8	4
B	52	72	J	12	32
C	40	36	K	0	0
D	4	16	L	0	8
E	0	0	M	0	0
F	0	4	N	0	0
G	0	4	O	0	0
H	32	80			

注)H30年1月19～23日に県内各地のイチゴ圃場を調査

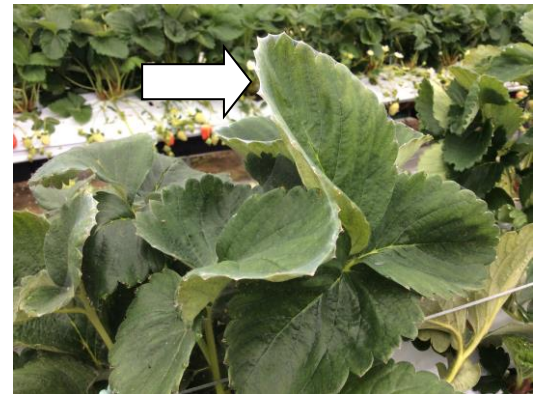


図2 ハダニ類の多発生により蜘蛛の巣様の糸を生じ生育不良となったイチゴ
(平成30年1月23日撮影)

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤のかけムラをなくし防除効果をより高めるため、散布前に下位葉等を除去する。
- (2) 薬剤防除の際は系統が異なる薬剤を組み合わせ（後述 IRAC コード参照）、5～7日間隔で、薬液が葉裏に十分かかるよう丸型噴口等を用い、十分量を丁寧に散布する。
- (3) 圃場間で薬剤の効果が異なる場合があるため(平成28年8月31日付け病害虫対策資料第9号 http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/3_21899_18463_up_gszkv8s3.pdf)、効果の低下を認めた薬剤の使用は控える。
- (4) 使用できる殺ダニ剤が少ない場合には、気門封鎖系薬剤（粘着くん液剤、エコピタ液剤等、表2参照）等の物理的資材を積極的に活用する。ただし、これらの薬剤は卵に対して効果が無いので、5～7日間隔で計2回を1セットとして散布する。なお、薬害を避けるため、単剤で用いることとし、開花盛期の使用は避ける。また、加温機を稼働する等して濡れ時間の短縮を図る。
- (5) 天敵を放飼した圃場であっても、ハダニ類の増加を認めた場合は殺ダニ剤による防除を行う。
- (6) 農薬の選定にあたってはミツバチへの影響が小さい薬剤を選択するとともに、散布前に巣箱を圃場外に持ち出す。また、ミツバチが活動する午前中の散布は控える（平成29年度病害虫防除のてびき <http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321936/index.html>. P547～551参照）。

表2 ハダニ類の主な防除薬剤

(佐賀県施肥・病虫害防除のてびきに掲載している薬剤を記載)

IRAC コード	薬 剤 名	成 分 名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	ミツバチ 導入可能 日数
-	ムシラップ	ソルピタン脂肪酸エステル	500	100~300L/10a	収穫前日まで	-	-
-	サフオイル乳剤	調合油(サフラワー油及び綿実油)	300~500	100~500L/10a	収穫前日まで	-	-
-	アカリタッチ乳剤	プロピレングリコールモノ 脂肪酸エステル	1000~3000	100~400L/10a	収穫前日まで	-	1日
-	フーモン	ポリグリセリン脂肪酸エステル	1000	150~500L/10a	収穫前日まで	-	-
6	コロマイト水和剤	ミルベメクチン	2000	100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	1日
21A	ピラニカEW	テブフェンピラド	2000~3000	150~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	1日
21A	サンマイトフロアブル	ピリダベン	1000~1500	100~300L/10a	収穫3日前まで	1回	4日
20D	マイトコーネフロアブル	ピフェナゼート	1000	100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	1日
25A	スターマイトフロアブル	シエノピラフェン	2000	100~300L/10a	収穫前日まで	2回以内	1日
25B+21 A	ダブルフェースフロアブル	ビフルブミド,フェンピロキシメート	2000	100~300L/10a	収穫前日まで	1回	1日

注)IRACコード:IRACが作成した殺虫剤の作用機構に基づく分類コード。数字もしくは数字とアルファベットの組み合わせで表される。
コードが同じ農薬は作用機構が同じであるため、連用しない。
-:IRACコードに記載なし

連絡先:佐賀県農業技術防除センター 病虫害防除部
〒840-2205 佐賀市川副町南里1088
TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085